



子育てチャンネル

正解のない子育て

若いころは世の中「〇か×」

「白か黒か」しかないと思って
いた。どんな人も良い人で、話
をすれば理解し合えるものだ
と。グレイゾーンや必要悪など
という言葉の意味が嫌々ながら
理解できるようになったのは、
随分年齢を重ねてからだったよ
うに思う。

法律に反することはダメだが、
日常生活にこれは絶対に正しい、
という正解はないことが多く、
結果オーライということもた
くさんある。子育てにおいても同
様のことが言えるのではないだ
ろうか。

語弊があるかもしれないが、
子ども時代より成人になってか
らの方が圧倒的に長い年月の人
生を過ごすわけで、子どもの時
に鼻を垂らしていた子が立派な
人物となっていたりすることも
あるのだから、子ども時代がす
べてではなく、その先を生きる

力が重要になる。

いずれ社会に出ていろいろな
価値観の人と過ごさなければな
らないということは、自分とは
違う考えや立場に立ったもの
見方ができる人間に
育てることが大
切ではないだ
ろうか。

相手の
立場を思
い測る力
は欠かせ
ないもの
なる。た
だし
相手の立場ばかり
に気にして自分の意
見を言えないというのも違
うので、関わる人たちの影響はと
ても大きくなる。

想像力を育てる

大人になってからピアノを習



い直した時、先生から「パッハ
やベートーベンの音楽がはやっ
ていた時の時代背景や弾き方
を想像して」と言われて驚いたこ
とがある。子どもの時は、ただ
譜面だけを追い、そ
んなことは考え
もしなかつ
たから。

絵画や歴
史、伝統
文化など
も、その
時代の
人々の息遣
いを感じ、想像
することが楽しいの
ではないだろうか。

先日、高等支援学校の先生の
講演を聞く機会があった。発達
障害の子どもの生活は、睡眠、
食事、そして余暇の過ごし方が
大切だというお話をうかがった。
でもこれは子どもから大人まで

当てはまることではないだ
ろうか。

大人にもよく第三の場所を持
つことが大事だといわれる。仕
事と家以外に自分がリラックス
できる場所、という意味で、余
暇を上手に過ごすことが相手
を思いやり、立場や考えを想像
する余裕となるのではないだ
ろうか。

学問という知識のほかに
学べるものはたくさんあるとい
うことを伝えていくことが想像
力豊かな子どもに育てる鍵とな
りほしくないだろうか。ちなみに
私は釣りの時、魚の気持ちを想
像するけれど、なかなか読め
ません。

NPO法人

旭川TAGスポーツクラブ

大浦厚子